

耳鳴りタイプ

中医学では、耳鳴りの原因はいくつかあると考えます。

一番多そうな耳鳴りタイプは腎精不足です。耳鳴りに併せて、

難聴、めまい、足腰の弱り、手足のほてりやだるさ、頻尿などが気になるのが特徴で、このタイプは、耳鳴丸(じめいがん)や杞菊地黄丸(きぎくじおうがん)で腎精を補いながら根本的に改善してゆきます。

かんと(う)を使用します。

発熱時の耳鳴りは風熱のいたずらで、銀翹散(ぎんぎょうさん)や涼解薬(りょうかいやく)がおすすめです。

また、イライラや目の充血があり、生理前やストレスによる耳鳴りなら肝気が原因なので、竜胆瀉肝湯(りゅうたんしゃかんと)や

阿部 佐知子の
国際中醫師



<第四十七話>

加味逍遙散(かみしょうようさん)がおすすめです。

胸がモヤモヤ、ため息、痰が多く、気分もすつきりしないような耳鳴りは、痰湿が原因と考え、温胆湯(うんたんとう)や、寒飲の場合は苓桂朮甘湯(りょうけいじゆつ

耳鳴り改善の基本の1歩です。

タイプにあつた漢方を服用することが

は、痰湿が原因と考え、温胆湯(うんたんとう)や、寒飲の場合は苓桂朮甘湯(りょうけいじゆつ

◆飯島仁生堂薬局本店
足立区千住1-29-2
☎388812273
<http://www.jinseido.co.jp>